



「科学する」とは・・・？

目の前で起きている現実をじっくりと見つめある仮説をたてます。
そしてその仮説を実証します。
実証できなければその仮説が間違っているため新たな仮説をたてます。
これを実証できるまで繰り返すことを「科学する」といいます。
実証できたことは真実であり本質です。

GSIコンセプト

自分で自分にコーチできる自分になる。
いかなる状況においても100%実力が発揮できる自分になる。

GSIの理論

一般にゴルフスイングはむつかしいモノ、上達には時間のかかるモノといったイメージがあるようです。しかし、運動工学的に見るとショットは、クラブヘッドとボールの衝突という単なる物理現象です。
クラブの正しい動きを理解し、その動きを作り出すための身体の動きが明確になれば、イメージどおりのショットを打つことは簡単になります。
よくプロの写真やビデオを見てその形を真似ようとしている人がいますがなかなか同じフォームにはなりません。それはスイング中に「慣性力」や「作用に対する反作用」「脳からの指令の遅れ」など目に見えない力や現象が存在しているからです。

スイングには「自分でクラブを動かすパート」と「クラブや腕の慣性力によって勝手に動かされるパートがあります」スイング全体で自分がすることはごくわずかです。そのことが明確になればスイングはとてもしやすくなります。

人は同じことを体験しても、人によって感じ方はそれぞれ違います。スイングについても同じことがいえるのですが、多くのプロや上級者は自分の感覚やコツが万人に通用するものとして伝えてしまう傾向があります。
研究所では誤解を招きやすいイメージやフィーリングを一切排除し、すべてのゴルファーに共通なクラブも動きとそれにまつわる身体の動きを運動工学と人間工学を切り口として説明します。また、理論に基づいて開発された数々のユニークな機器を使ったレッスンなので、だれにでもわかりやすく短期間での上達が可能です。